

令和3年度 青梅市市民提案協働事業一次審査結果

NO	テーマ	事業名称	提案団体	事業担当課	事業の概要	第1次審査 審査結果
1	自由	子育て世代に向けた情報誌 「子どもの笑顔があふれる街に」 の制作	青梅市子ども関連NPO団体 連絡協議会	子ども家庭支援課	青梅市の各地域で、子どもに関わる現場で活動している4NPO団体のそれぞれの個性・特性・強みを活かした視点で、今だからこそ必要な「知りたい」情報や市の情報を発信することで、子育て中に限らない全世代の市民が既存の活動への参加や支援、自主的な新規の取り組みを自分で考え行動するきっかけをつくる。 ・『子どもの笑顔があふれる街に』広報誌の発行・web掲載 ・アンケート実施 (Webのアンケートフォーム回答・子育て広場や子育て関連イベントなどの現場で読んでもらい対面で調査。1万部配布で100人以上の回答を得る)	通過
2	自由	みんなで守る子どもの安心 ～子どもの命と心を守るために、いま、おとなに出来ること～ CAPおとなワークショップinオンライン	特定非営利活動法人 青梅こども未来	教育委員会指導室 市民安全課	CAP(あらゆる暴力から子ども自身が自分を守るため暴力防止・人権教育プログラム) 「CAPおとなワークショップ」は、「CAP子どもワークショップ」を実施するにあたり、事前の開催を義務付けている教職員・保護者の為のプログラム。「子どもの声を聴く」と言う大きなテーマを持ち、子どもワークショップの疑似体験や、暴力についての正しい知識を共有していきます。地域のおとなたちが、子どもの権利について学び、知識と情報を共有することで、おとな同士のつながりを作ります。 1. 教職員向け 2. 地域・保護者向け(平日) 3. 地域・保護者向け(土曜日) 計3回のオンライン講座開催	通過
3	自由	乳幼児の子育てママパパへ向けた「自然あそびと森あーと体験！」	特定非営利活動法人子どもと文化のNPO子ども劇場西多摩	子ども家庭支援課	「自然に触れて感動する体験」「命の尊さを感じる」「感じたことを表現する森アート体験」を子どもと一緒にする事で、その必要性を理解し、子育てに外遊びの充実を意識してもらう事を目的とします。また、子育ての仲間づくり、交流のきっかけとなる事を目的とし、乳幼児の子育てママパパへ向けた『自然あそびと森アート体験！』を新町の新田山公園で実施します。 対象:0歳～就学前の子どもとその保護者 10組 期間:9月～3月まで 月1回(平日の午前10時30～12時)合計7回	通過

NO	テーマ	事業名称	提案団体	事業担当課	事業の概要	第1次審査 審査結果
4	自由	不登校の子どもたちの居場所 ロビンソン	フリースペース ロビンソン	教育委員会指導室	<p>現在、青梅市にも不登校の子どもは多く、市の不登校対策としてふれあい学級が設置されているが、通級出来ている子どもの数は多くはない。不登校の子どもたちは、様々な理由で傷つき、自分の存在さえ否定していることも多く、まずは存在そのものが保障される家庭などの居場所で、心の傷を癒しながらエネルギーを回復させていく必要があるが、そこで少しエネルギーが回復しても、いきなり学校やふれあい学級に戻ることは容易ではない。その一歩手前で、その子の「ちょっと外に出てみようかな」「こんなことをやってみたいな」というほんの少しの心の動きに寄り添いながら、家から外へ少しずつ安心を広げていく必要があるが、今現在そうした居場所は青梅市にはないと思われる。家から一歩出られる居場所を作ることで、不登校の子どもたちが人への信頼と自己肯定感を大きく膨らませ、自立に向けて歩みを進めることを目指す。</p> <p>第2～5金曜日の10:00～16:00を基本に全25回開催</p>	通過
5	行政 テーマ 4	青梅の森林の魅力発信	特定非営利活動法人 青梅林業研究グループ	農林水産課 教育委員会指導室 公園緑地課	<p>近年、幼稚園、保育園、小学校からの森林環境教育や、都市住民からの森林林業体験のニーズが高まっている。しかしながら、そのようなニーズに対して、対応できる人材や団体の高齢化、人材不足が加速している。そこで、青梅市内の、森と木を活用できる人材の発掘と育成を目的として、放置山林の利活用と、未来の担い手の育成を図る(青梅市ならではの「森林環境譲与税の有効活用方法」を考えるなど)。</p> <p>市内の森に入って、森や木の役割を知る、森や木を活用するといった体験型イベントを2回開催予定</p> <p>インターネットを通じて魅力発信も実施する。</p>	通過
6	行政 テーマ 3	みんなが安心・楽しめる地域づくり ～クルマで安心防災おうめ・いっしょにあそぼう！ おうめで～	おそきの学校と地域を考える会	防災課 環境政策課 市民活動推進課 社会教育課	<p>近年、自然災害が多発し市民の防災意識も高まっています。土砂災害や大震災の発生に備える中で、避難所の過密化・感染症対応・ペットとの同居などから、在宅避難や車中避難の重要度も増してきています。その際に電源としても大きな力を発揮する環境対応車(HV, PHV, EV,FCV)の発電機能。また、クルマの未来について、SDGsや地球温暖化防止の観点も含めて国家1級整備士が実車を使って紹介する講演会を実施する。</p> <p>また、高齢者へのワクチン接種もひと段落する秋から春にかけて、小曾木市民センターのグラウンドで密を避け感染対策を講じた、子どもから高齢者まで楽しめる地域の歴史や文化を体験できる場作りを2回実施する。地域の伝統行事の紹介やワラジづくり体験、おそきアンサンブル青樹の楽器紹介、日本文化を感じられる凧作りや凧揚げ、はねつき、コマ回しなどを子どもから高齢者まで全世代で楽しめる地域発信の手作りイベントのモデル事業として青梅市全域へ向けて発信する。</p>	通過

自由提案…市民活動団体が市と協働で実施したい事業について、自由な発想で提案するもの

行政テーマ提案…市が設定した次の5つのテーマについて、事業を提案するもの

1 「SDGsの推進に向けた、普及啓発」 2 「生物多様性に関する普及啓発」 3 「地球温暖化対策」

4 「森林が担う役割を理解し、活用、体験を通して更なる魅力発信」 5 「あそぼうよ！青梅(青梅で遊ぼう！学ぼう！体験しよう！)」